

試聴会・訪問記掲載

シマムセンオーディオ試聴会 (2017.7.15)

—CSPORT 新製品試聴会—

1. はじめに

シマムセン CYMA で開催された CSPORT の新製品の試聴会に行ってきました。

2. 使用機器



モノラルパワーアンプ 212PA



アナログプレイヤー LFT1



フォノイコライザーC3EQ



当日のセッティング

使用機器は同社の製品以外に、スピーカーが B&W800D3、CD プレイヤーが TAD-D600、プリアンプがアキュフェーズ C3850、カートリッジは My Sonic Ultra Eminent Bc でした。

3. 試聴会の進行

最初に CSPOINT 立ち上げの経過報告があり、今回披露する機器については試聴を挟んで技術的な解説がありました。詳細は同社のホームページを参照願います。

<http://www.csport.audio/>

印象としては、新規参入メーカーながら、経験豊富な人材がおり、開発の年月をかけてじっくり練り上げ、斬新な設計思想を堅実な技術で実現していくスタンスのように感じました。また、選曲がよく、機器の特性を考えた曲を聴かせてくれ、何枚かは保有している盤もあって、性能の特徴が分かりやすく思えました。

最初に CD でテノールのドイツリートがかかりましたが、声の質感が自然でまったく押し付けがましい音がせず、歌の情感がしっくりしていました。

次にカンターテドミノのアナログ盤がかかりましたが、やはり質感が自然で、合唱の溶け合いもよく、オルガンの音も生の音に近いものでした。

次は CD に戻って、ハイドンのカルテットでしたが、ガット弦の音がクリアーでしなやかに聴こえました。

続いて、グルダのジャズピアノ、チャイコフスキーの 1812 年、チェロとコントラバスの Amazing Duo がアナログでかかりましたが、共通するのは、音が静かな中から浮かび上がるような感じで、ジャズピアノはパワフルに、1812 年の大砲もよくトレースでき、チェロとコントラバスもそれぞれの質感が自然に出ていました。

この後、ギター伴奏の女性ボーカル、ダイレクトカッティングのジャズ、菅野冲彦録音のジャズ、チェロソナタなどがかかりましたが、ギター、声、サクソ、ベース、ピアノ、チェロ、ビブラフォンなど、どれをとっても質感が十分に出ているながら、重量級の機器の見かけから想像されるような押し付けがましいところがありませんでした。

総合的な印象としては、新規参入メーカーですが、ユニークな技術的発想の下に開発された製品群で、設計思想が音に反映されているように感じました。特に、Non NF やパーツの厳選、電源にスイッチング電源を使用しながら、高信頼性の工業用スイッチング電源で培った技術がうまく生かされているように思います。

以上